

がん治療を受けながら、働き方や職場復帰について考えるときにご覧いただければと思い、

「がんと仕事のQ&A」

編集・発行 独立行政法人国立がん研究センターがん対策情報センターの内容を抜粋し、紹介します。

職場で病名を公表していません。
体調が悪くても周囲に相談しづらいのですが、
正直に話したほうがいいのでしょうか。



長期的には、職場関係者に病気の状況を正確に伝え適切な配慮を得ることが望ましいと思われます。しかし、現実には、病気を公表することで生じる不利益を心配して職場の誰にも知らせていない方も少なくありません。

信頼できる同僚や上司はいないのでしょうか？

病名を公表しないメリットとデメリットを、もういちど考えてみてください。

どうしても公表できない場合、体調が悪いときには、がんという言葉を使わず実際に起きている症状そのもの（頭痛、吐き気など）を使って説明してよいかもしれません。



がんサロンのお知らせ

日時: 1月21日 2月7日 2月18日 15時～16時

場所: センター棟4階 健康管理センター待合ホール

